

日	曜	月の行事予定	時程変更
1	月	朝会 教育相談午前 班長会議 読書月間 授業参観 WEEK	
2	火	議案説明会	
3	水	文化の日	
4	木	なかよしデー	
5	金	なかよし活動	
6	土	サタスク	
7	日		
8	月	1年ズーラシア遠足	
9	火	1年旭図書館読み聞かせ 班長会議	
10	水	代表委員会	
11	木	就学時健診(短縮4時間授業)	13:15下校
12	金	全校遠足(雨天時給食なし)	14:20下校
13	土		
14	日		
15	月	音楽朝会 教育相談午前 クラブ活動 区巡回展(~18日)	
16	火	班長会議 5年人権学習	
17	水		
18	木		
19	金	全校遠足予備日	
20	土	サタスク	
21	日		
22	月	まち学校ふれあい交流会	
23	火	勤労感謝の日	
24	水	なかよしデー 教育相談午後	
25	木	1年2年読み聞かせ 4年旭焼却工場 6年消費者教育出前講座	
26	金	5年消費者教育出前講座 研究会のため5時間授業	14:40下校
27	土		
28	日		
29	月	委員会活動	
30	火		

※下校時刻が通常と変わる日にご注意ください。

◆旭区巡回展◆

日時 15日(月)~18日(木)

鑑賞時間 9:00~14:00

※作品は職員室前の廊下に展示されます。ぜひご覧ください。来校の際には、感染症予防のため、検温、マスクの着用、手指消毒をお願いします。

11月のめあて

生活: 外で元気よく遊ぼう

保健: うすぎでがんばろう

給食: 係や当番に進んで協力しよう

◆授業参観 WEEK◆

日時 11月1日(月)~5日(金)
1~4校時

今年度も授業参観 WEEK として、人数を制限した上で授業参観を行います。このような状況下ですので、さまざまな制約をかけながらとなりますが、少しでもお子さんの学習の様子をご覧いただけたらと思います。また、サッシ工事のため階段、廊下が非常に狭くなっております。参観終了後は教室、校舎内に留まらないようご協力ください。

◆全校遠足◆

日時 11月12日(金)
予備日 11月19日(金)

場所 県立四季の森公園




※天候がはっきりしない場合にのみ、実施の可否を7時30分にメール配信いたします。詳細につきましては、別紙のお知らせをご覧ください。雨天延期の場合にもお弁当は必要ですのでご準備をお願いします。

◆健康観察票について◆

毎日の健康観察ありがとうございます。お子さんの健康状態をしっかりと確認するために、健康観察票は保護者の方が確認をしたうえで提出してください。ご協力をお願いいたします。

◆信号の工事について◆


北門近くの信号機が歩車分離式になります。11月2日の午前中に工事が行われる予定です。学校でも歩車分離式信号について子どもたちに説明します。

学校だより

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/

令和3年10月29日
横浜市立上白根小学校
【11月号】





相手を思う心

副校長 伴野 均

2年生の担任をしていたときの事です。クラスでプリントを配りました。「先生、プリントが1枚足りません。」と、前から3番目の児童が言いました。その児童は、自分の分は取らずに後ろに渡し、私のところにプリントを取りに来たのでした。

その児童にとっては、何気ない当たり前の行動でした。しかし、考えてみると後ろに座っている2人の友だちのことを思い、気遣っている行為であることがわかります。私はプリントを渡しながら本人に一言声をかけた後、クラス全体に今の行為について考えてもらいました。子どもたちは少し考えた後で、「友だちのことを大切に思っている」「優しくて素敵」「ぼくもそうになりたい」「クラスみんなでいい気持ちになりたい」などの発言があがりました。その後、『遠足の時、電車の中でリュックを前に背負ったのはなぜだろうね』とか『ドッチボールで二人が同時にボールを取ったときはどうしようか』など、具体的な場面での話をしていきながら、クラス全体が温かな雰囲気になっていったことを今でもはっきりと覚えています。

さて後期に入り、階段のサッシ改修工事が始まりました。各階の踊り場に仮間仕切りが設置され、通れる幅が狭くなりました。後期始業式の後、放送で、子どもたちに階段踊り場の通り方について指導をしました。安全を第一に考えゆっくり移動すること、そして、交差するときには『登り優先』で歩くことを伝えました。

『登り優先』としたのには訳があります。山登りでは、山道で人が交差するときには『登り優先』となります。もし、下りが優先であったのなら、下で待つ登山者が落下物等で危険な状態となります。登る人を待つ方が時間はかかりますが、安全第一でルールが決められているのです。また、通り過ぎる際には、「こんにちは」「ありがとうございます」などと声を掛け合い、互いの健闘をたたえ合ったり無事を祈ったりしながら、相手に対する心遣いをさりげない言葉で伝え合っているのです。

子どもたちの階段での様子を見ると、決められたことをしっかりと守り『登り優先』で落ち着いて行動しています。また、上級生が下級生に通行を譲る姿も見られ、とてもうれしく思いました。

サッシ改修工事で階段が通りにくい状態となりましたが、これは様々なことを学ぶチャンスの間であると考えられることもできます。学校という集団生活の間では、様々な場面、で相手のことや周りのことを考えて行動することが必要となります。コロナ禍で、相手との距離や人とのつながりを考えさせられたここ1年あまり、もう一度、相手を思う心を見つめ再確認するときなのではないかと思っています。

